

# ボランティアが支える 公民館活動



双海地区公民館 主任

赤石 雅俊  
(伊予市)



## ◆建物のない公民館

「しずむ夕日であらびくり」で有名になった伊予市双海町には、いわゆる「公民館」という公設の建物はありません。建物が無いので公民館の部屋を貸す業務は無く、体育祭や公民館まつり等のイベントの主催、各種学習講座を企画・運営する事などを主な業務としています。

## ◆自治公民館の取り組み

建物が無い双海地区公民館が、学習講座をどこで実施しているかという点、町内34の集落に存在する自治公民館で行っています。

「自治公民館」とは、社会教育法第42条に規定される「公民館類似施設」であり、『愛媛県公民館職員ハンドブック2006』によると「住みよい地域づくりのために、住民の



『下灘駅観光スポット作り』での種まきの様子

総意によつて各種の学習事業を行い、住民の自治能力と地域連帯感を高めるための自治組織による活動』を行う教育機関であるとされています。

双海地区では半世紀前からこの自治公民館制度が根付いており、それぞれの自治公民館は、独自に学習活動を行い、地区行事を運営しています。

例えば、JR下灘駅が存在する日喰自治公民館では、老人部が中心となり、下灘小学校、伊予農業高等学校などと協力して駅構内で花を育て、駅周辺の環境美化と賑わい作りに行っています。

貢献しています。この「下灘駅観光スポット作り」という活動は、たびたび新聞に取り上げられ、大小様々な表彰を受けるなど、注目を浴びています。

また、双海地区公民館主催の運動会や公民館まつり等の行事も、自治公民館の役員方を中心に集まりいただいた体育部長会や実行委員会に事業委託し、企画・運営をお願いしています。

## ◆双海町こども教室

現在の双海地区公民館で、大きなウエイトを占める事業の1つが「双海町こども教室」です。

双海地区では、旧双海町時代から「地域の子どもは地域で育てる」という考え方が住民に十分に浸透しており、町内の有識者や各種団体の長、学校の先生方、社会教育課の職員等が「双海町少年少女おもしろ教室」という青少年健全育成事業を企画・運営していました。

一方で、公民館でも独自に通学合宿や単発の青少年向けの学習講座等を実施してきました。平成21年からは、双海地区内の青少年健全育成事業を統合して、公民館主催の「双海町こども教室」として実施しています。

「双海町こども教室」は、「双海町特有の自然・文化・産業等に触れ、体験活動を行うことを通して、ふるさとを愛する心を持つ



『ふるさと体験塾』漁船底引き網体験

た心身共に健全な子どもを育てる」ことを目的として、主に双海町内の3小学校の児童を対象に行っています。具体的には、「漁船に乗って底引き網体験」「シーサイド公園でじゃこ天作り体験」「サツマイモ収穫体験」等年間通して7つの体験活動を実施する『ふるさと体験塾』、夏休み等の長期休暇期間に「陶芸講座」や「勾玉作り」、「発電所見学」等を活動ごとに受講生を募集して行う『おもしろ大作戦』、6泊7日の通学台宿『わくわく生活体験夕焼け村』の3つの事業を実施しています。

### ◆ジュニアリーダーの活躍

「双海町こども教室」も事業開始から5年が経過し、大きく変わったことがあります。それは、過去に事業に参加した事のある受講生OBの中・高・大学生がジュニアリーダーとして活動に協力してくれるようになってきたことです。当初、中学生女子1名きりだった学生ボランティアは現在20名を大きく超え、「双海町ジュニアリーダー会」という組織を形成し、プログラムの一部を任せられるまでに成長しました。

参加している小学生達にとつて、ジュニアリーダーは他の大人のスタッフよりも身近な存在であり、「小学校を卒業したらジュニアリーダーに」というごく近い将来の目標にもなっています。

また、本年度は、公益財団法人えひめ地域政策研究センターの「まちづくり活動アシスト事業」の助成金をいただき、『双海町スター☆ドームプロジェクト』を実施しています。「スター☆ドーム」とは竹を星型に組んで作る半球形のドームで、キャンプの際のテントやイベントスペースなど様々な場面で利用できます。ジュニアリーダー達はこれを活用し、子ども達の輪投げスペースにしたり、キャンプ時に季節の星空を投影したりするなど、夢のある新しいプログラムを提供してくれています。

ジュニアリーダーの増加により、体験活動のスタッフ不足が解消され、また、これまであまり公民館に関与していなかった中高生の姿が見えるようになり、今後この活動をきっかけとして、今後



下灘の軽トラ市でジュニアリーダーが作ったスタードーム

様々な行事に参加し、地域の中で若者の活躍する場所を増やしていただきたいと考えています。

### ◆今後の展望

双海地区公民館では、この様に多くのボランティアに支えられて事業を実施しています。参加された方々は、事業の中で新しい人間関係を築き、地域の繋がりを深めていただいております。

今後は、ジュニアリーダー達の活動をいかに地域に還元していくかが、当館のテーマであると考えています。